

「児童総会」から 感じたこと

5月1日（月）、3～6年生による前期児童総会が開かれました。

執行部、各専門委員会から活動目標、活動計画が提案されました。事前に学級討議を行っており、代表者が質問や意見を述べましたが、今までと異なることは「〇〇はしないのですか?」、「〇

〇とは違ったゲームをしてほしいです。」などの質問や意見に対して、答弁者から「〇〇さんは、どんなゲームがしたいですか?」と、質問者の考えを問う場面があったことです。

講評の中で、『「～してください。」と要求するだけでなく、「こうしたら、もっとよくなる」という自分なりの考えを持って質問したり、意見を言うによりよい取り組みができる。』と話しました。

自分の権利を主張することや他人を批判するばかりの大人になってはほしくありません。どうしたら、自分が周りに役立てるのかを考え、社会や地域に暮らす一人として責任を果たしたり、貢献したりできる大人になってほしいものです。

ちなみに、先日の日曜日に行われた夏井町「春のクリーン作戦」では、早朝の自由参加にも関わらず65%以上の児童が参加しました。子どもたちに参加を促してください有難うございました。大人の背中を見ながら子どもは育ちます。これからも小さな社会貢献を積ませるようよろしくお願いします。



有難うございました。大人の背中を見ながら子

